

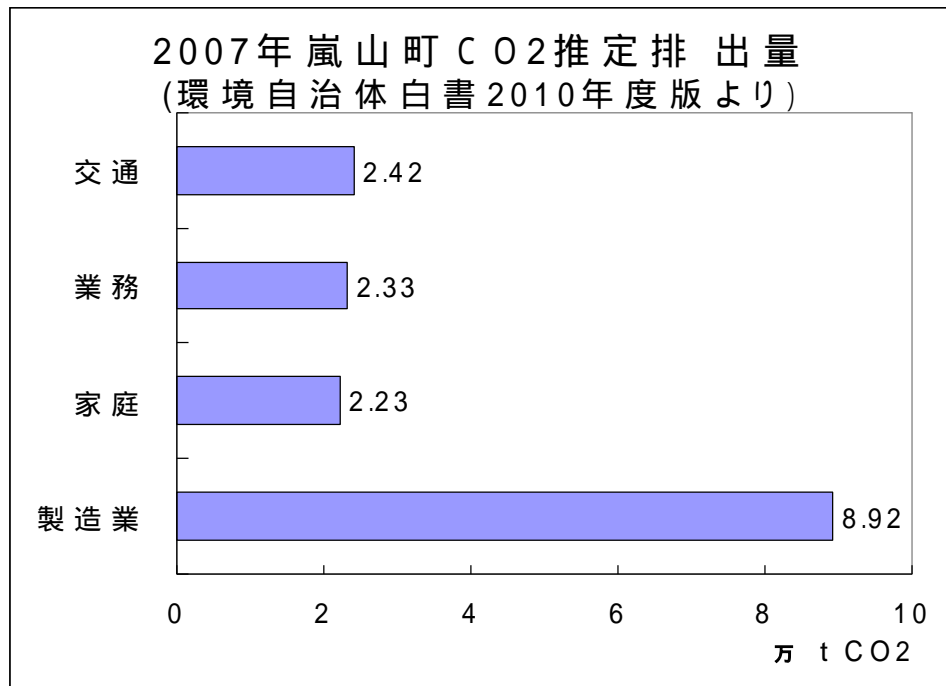
2050年までに、CO2の排出量を80%削減しても地球の平均気温は2度上昇するといわれています。

2050年、50才以上の方は生存していない人が多いはずで、国立社会保障・人口問題研究所によると嵐山町人口は2035年には14815人と予測されています【2010年9月18904人】。少子高齢化はもっと進み、逆ピラミッドになり、仕事をして税を払う人・子どもが少なくなります。気温が2度高くなると、今まで収穫できていた野菜・果物の栽培が難しくなります。洪水等の被害も増えます。熱射病にかかる人も増えます。

低炭素で人口減の嵐山町を活性化する政策が必要です。

そのために必要なことは

- 嵐山町全体のCO2の排出量を嵐山町が計量すること。
- 下のグラフでは、製造業のCO2の推定排出量が多いことがわかります。



- 公共施設・家庭・事業などのCO2排出量を数字でわかるようにして、削減しやすくすること。
- 嵐山町の特長の里山・農業・緑の保全で、CO2吸収源を守り育てる計画をつくること。
- 産業のあり方をCO2削減の方向でつくりなおすこと

嵐山町議会文教厚生委員会は、嵐山町の将来に責任をもつよう、地球温暖化対策を進める条例を作るように議論しています。

町の政策が重要になってきます。若い方の意見も大切です。先日、大妻嵐山中高生と意見交換しました。嵐山町中学生、農業・林業の方、商工会・花見台工業団地事業所の方・嵐山町の自然保全を進める里地里山の委員会の皆さんとも意見交換をして、良い政策を提案します。

平成21年度決算より【一般会計67億7054万円より】

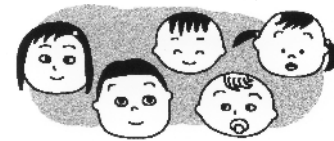


0才から14才(2249人平成22年4月1日)への町のお金の使われ方は【1万以下四捨五入】

2つの表の合計額は11億229万円です。他にもあります。

児童手当	1億2794万円
子育て応援特別手当	734万円
乳幼児医療費(就学前)935人	2015万円【1人21540円】
子ども医療費(義務教育)1202人	1652万円【1人13741円】
保育園(年間延べ人数3229人)	3億294万円
【うち保護者の支払った保育料】	【7060万円】
町立幼稚園	3271万円
【うち保護者の支払った幼稚園費】	【1159万8千円】
私立幼稚園就園奨励費(86人)	696万円
乳幼児健診・妊産婦検針等	1442万円
子育て相談・おもちゃ図書館の社会福祉協議会への補助金	177万円

保育料を来年4月から引き下げます。町は保育園への負担金850万円を新たに支出します。家庭保育の子にボランティアの方の活動だけでなく公的サービスもあればいいですね。



小学校費	1億3453万円
中学校費	5772万円
学童保育委託料	1764万円
菅谷小新学童保育建設費	2150万円
放課後子ども教室	180万円
学校給食運営費	3234万円
給食センター建設費	2億7192万円
学校ICT環境整備事業	2363万円
英会話指導・外国人青年招致事業等	501万円
さわやか相談員・小川町広域適応教室負担金・教育相談員・親の学習講座等	462万円
青少年関連団体【7団体】への補助金	83万円



残念！15才からの若い人への政策がない。

若い人が高校・大学・仕事だけでなく、地域に関わって成長できる機会と場が必要です。



65才以上の人(4377人)への町のお金の使われ方は？

表の合計額は3億1804万円です。



介護保険特別会計繰出し金	1億2276万円
介護保険利用料低所得者助成金	497万円
老人保健・後期高齢者医療事業へ	1億4652万円
地域包括支援センター	415万円
在宅介護支援センター	400万円
生き生きふれあいプラザなごみ【うち利用料】	625万円【91万円】
生き生きふれあいプラザやすらぎ【うち利用料】	1163万円【172万円】
やすらぎトレーニングルーム委託料	429万円
シルバー人材センター補助金	950万円
老人クラブ補助金	188万円
金婚の祝い・愛情弁当の社会福祉協議会【社協】への補助金	94万円
なごみ講座事業・うきうきサロン【16地区】の社協への委託費	115万円

一般会計で他にも有りますが、特別会計(介護保険・後期高齢者医療・国民健康保険)の事業が多くなっています。

10月13日、議会議員政治倫理条例違反による不当利得の返還についての裁判が始まりました。

裁判では「嵐山町がM議員に違法支出したH20・21年度分謝金46万円を町に返還することを町長がM議員に命令する判決」を求めています。

町はM議員に人権教育推進講座の健康ダンス等講師謝礼を10年以上支出。M議員は、嵐山町議会議員政治倫理条例8条「議員は町の業務を請け負っている場合、議員に就任してから1ヶ月以内に辞退すること」に反しています。

昨年は吉田集会所管理人をM議員が請負っていたことがわかり、非公式に法令違反を指摘し、改めることができました。昨年に続き2度目なので、政治倫理審査会に審査を求めました。が、藤野幹男議長が審査会に審査を求めません。

5月、監査委員に税金の法令違反支出を改めるように監査請求しましたが、監査委員は問題なしと却下しました。M議員・議長・町も、議員政治倫理条例違反を不問にして、改めないで、8月5日に裁判所に提訴しました。